

松戸市シルバー人材センター はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第54号

会員数

男性 1,721人

女性 500人

2,221人

平成28年11月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター
〒271-0043
松戸市旭町1-174
TEL 047(330)5005
FAX 047(330)5008
松戸市シルバー人材センター
ホームページ
www.matsudoshi-silver.or.jp
E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 平成29年1月1日



上本郷・風早神社 10月9日



文化財を訪ねて —松戸の獅子舞— 〔市指定無形民俗文化財〕



和名ヶ谷・日枝神社 9月20日～22日

謹賀新年



理事長
龍谷 公一
（たにや きみひと）



明けましておめでとうございます。会員並びに役員の皆様方にはご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、会員並びに役員の皆様を始め市当局、関係企業並びに市民の皆様には、当シルバー人材センターの事業運営に対しご理解とご協力を賜りまして謹んで厚く御礼申し上げます。

さて、松戸市におきましても人口減少や少子高齢化の進展に伴い、本格的な高齢化社会を迎えております。一部には景気や雇用環境に若干回復の兆しが見え始めているようですが、シルバー人材センターの事業を取り巻く環境は大変厳しい状況が予想されます。特に最近の年金支給開始年齢の段階的引き上げによります継続雇用制度の導入の影響もあり、シルバー人材センターの第一年齢層となる60～64歳の比較的若い層の加入が見込めない状況となっております。また、設立時に入会されたシルバー人材センターを支えて頂いた会員の皆さまの高齢化も進んでいる状況でございます。そのような中、シルバー人材センターは高齢者の皆様の活動の場として不可欠な存在ですので、本年も安定した事業運営を積極的に進めていきたいと考えております。また日頃より申し上げておりますが、まずは会員の皆様の健康の維持や生きがい感、社会参加の喜びを得て頂くことが大切であり、その中で力を合わせながら、地域に役立ち愛されるシルバー人材センターとなれますよう会員の皆様方と一体となつて取り組んで参りましょう。年頭にあたり、会員並びに役員の皆様のご健康と穏やかで幸せな一年が過ごせますよう心より祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



松戸市長
本郷谷 健次

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。龍谷理事長をはじめ、公益社団法人松戸市シルバー人材センターの皆様には、日頃より市政にお力添えを賜り、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化の進展により労働人口の減少が懸念されている昨今、生涯現役で活躍できるような社会が求められており、シルバー人材センターに求められる役割は益々大きくなってきているものと存じます。本市では、高齢者の皆様がいままで元気でいられるよう健康寿命の延伸を重要課題の一つとし、様々な施策に取り組んでいるところでございますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



松戸市議会議長
深山 能一

明けましておめでとうございます。会員の皆様には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、高齢化社会が益々進展していく中で、活力ある長寿社会を実現するために高齢者施策の充実が市政の重要な課題となっており、こうした中、働く意欲を持つ元気な高齢者に就業機会を提供し、経験や能力を生かした活力ある地域社会づくりに取り組むことは大変重要であり、龍谷理事長をはじめ松戸市シルバー人材センターの皆様のご活躍に心から敬意を表する次第でございます。どうか会員の皆様におかれましては引き続き、長年培ってきた知識や経験を活かされ、生きがいをもって活躍いただきたいと存じます。

結びに、貴センターが益々ご発展されますと共に、会員の皆様にとりまして、本年が明るく幸せな年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

理事会報告

◆第6回 平成28年9月28日

(会議内容)

- (1)承認事項
・入会者の承認について

(2)議案事項

議案第5号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター情報公開規程及び公益社団法人松戸市シルバー人材センター個人情報保護規程の一部を改定する規程の制度について

(3)報告事項

事業実施状況報告について

・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

(4)その他

◆第7回 同年10月26日

(会議内容)

(1)承認事項

- ・入会者の承認について

(2)議案事項

議案第6号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター臨時職員就業規程の一部を改正する規程の制定について

(3)報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・未収金について
- ・予算執行状況について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

(4)その他

◆第8回 同年11月16日

(議事内容)

(1)承認事項

- ・入会者の承認について

(2)報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・専門部会関係

(3)その他

事務局からお知らせ

◆就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務所で行っております。お気軽にご相談ください。また就業情報は、センター事務所の掲示板やセンターのHPでもお知らせしています。

◆正会員・賛助会員会費の納入について

28年度会費未納の方は、左記へ早急にご納入をお願い致します。振込先千葉銀行小金原支店 普通口座 3029246 公益社団法人松戸市シルバー人材センター

理事長 龍谷 公一

配分金支払日

(平成29年)

1月20日(金)
2月15日(水)
3月15日(水)
4月14日(金)
5月22日(月)
6月15日(木)

【定時総会開催のお知らせ】

●平成29年度定時総会

日時 平成29年5月30日（火）

午後1時

場所 松戸市民会館

◆就業報告書の提出期限を守ってください

就業報告書の提出日は、翌月3日までです。それを過ぎると翌月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。

（※やむを得ない方はファックスでご送付下さい。期限内は当月扱いとなります。）

●事故報告●

(平成28年11月末現在)

平成28年度 事故件数 8件
 傷害事故件数 4件
 （就業中 4件、就業途上 0件）
 賠償事故件数 4件
 平成27年度 事故件数 15件
 傷害事故件数 7件
 （就業中 6件、就業途上 1件）
 賠償事故件数 8件
 （同月比）

年に一度、松戸市の各種「健診」を受けましょう。特にがんは早期発見がポイント。定期的な受診が、がんの早期発見につながります。

謹賀新年
賛助会員の皆様

(平成28年11月30日現在)

個人会員

安蒜美智子 佐野義男
 若林恵子 小澤寿美子
 向井 幸 市田美智子
 高野由紀子 石井芳子
 蛭田律子 國友富美子
 福嶋 弘 篠原瑞枝
 藤原良子 野村弘美
 梅本 眞 佐々木雅子
 加次井育子 畑澤昭範
 市橋由行 鈴木フミ子
 小暮宣子 石井トミ
 梨本恭子 高橋和子
 佐藤アサ子 佐藤弘子

法人会員

有限会社 アルファメディカル
 株式会社 M K A
 社会福祉法人 根木内福祉会
 リバーサイドヴィラ
 株式会社 コマニテ
 中崎印刷（中崎貞男）
 （敬称略・順不同）

確定申告 配分金の税金関係の取扱い について

◎配分金収入は、所得税法上課税対象で「雑所得」に区分されます。

配分金収入を確認の上、以下の計算例を参考に所得税が課税される方は税務署へ申告・納税（2月16日（木）～3月15日（水））して下さい。

●平成28年の収入が配分金の場合

「（配分金－配分金の特例控除65万円）－（基礎控除38万円＋その他所得控除）」×所得税率＝所得税額

※特例控除：租税特例措置法第27条（家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例）

※配分金が103万円以下の場合は、所得税は課税されません（税務署へ確定申告書を提出する必要はありません）。

【計算例】

●平成28年の収入が配分金と公的年金等の場合

「（配分金－配分金の特例控除65万円）＋（公的年金等の収入金額－公的年金等控除額）」－「（基礎控除38万円＋その他所得控除）」×所得税率＝所得税額

※公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、配分金から特例控除を引いた残りの金額が20万円以下の場合は、税務署へ確定申告書を提出する必要はありません（外国の公的年金等を受給している方は除きます）。

この場合、市役所へ住民税の申告書の提出が必要な場合があります。

なお、還付を受けるための確定申告書は提出できます。

◎配分金支払証明書を希望する方は、事務局に電話（047-330-5005）でご連絡をいただき、指定した日以降にお渡しできますのでお越し下さい。

◎配分金と公的年金等以外の収入がある場合、その他不明な点や詳細につきましては、松戸税務署（電話047-363-1171）にお問い合わせ下さい。

拡大特集

会員の
広場

▼私の特技▲

★趣味は日曜大工

9班 渡辺昇

床の張替、塗装、壁紙貼り、コンクリート作業、網戸の張替などやります。専門の技術でないため、他人様の依頼には応じられません。床の張替について述べます。用具は目が細かい鋸、ドリル、カンナ、カッターナイフ、丁尺、メジャー、金槌、床用の釘、木工ボンド（多くの量）等。床材は長さが180センチなので、継ぎ目が交互になるようにします。床材と梁の間はボンドで貼り付け、梁の部分に床用の釘で固定します。その際ドリルで下から45～55度の角度で奥から1ミリ離して穴あけし、釘を金槌で床材の表面直前まで打ち、更に細い＋ドライバーで打ちます。次の床材を隙間なく繋げるために釘を打ち過ぎず、また軽過ぎないようにします。張り合わせで継ぎ目がしっくり合わせる為に金槌で必ず「あて木」を使います（床材を直接打つと床材を傷つけるため）。最後の床材は表面は寸法どおりで下側は短く断面が斜めにして

★安全標語★

気がつかぬ

体の衰え

怪我のもと

公益社団法人松戸市シルバー人材センター

通常どおりボンドで張り合わせますが、床用の釘は使用しないで、その最後の1枚だけ重しで1日置き接着させます。事前に家具などは片づけますが移動不可の大きい家具は、張替えが終わった部分に移動して作業スペースを確保します。我が家では2部屋で行い、また台所はフロアリングを行いました。

▼私の宝▲

★めざすは千句、私の宝

12班 老沼 正一

脳細胞活性化のため「川柳」をやっています。本紙第24号が初出でその後毎号投句し、累計106句が掲載された『はっらつ松戸』が私の宝です。今後千句の大作に挑戦します。継続は力なり、編集の皆様、宜しくお願ひします。

■初出の分から (第24号)

朝練の声を残して駐めて行き
女学生自転車声弾んでる
自転車は駐輪場でお留守番
駐輪の自転車同士手を繋ぎ
駐輪へありがとう生むありが
とう

■最新号から (第54号)

お弁当キスマークのお重詰め
十八の臍かじりまで選拳権
朝採りの露まで送る道の駅

紅葉の化粧手伝う池の水
初恋の鏡も磨くニキビ面
癌友の手からこぼれる笑い顔
日帰りの白内障への絶縁状

▲想い出つづめて▲

★願いは沖縄まで車の旅

4班 出口 信隆

昭和四十七年の夏、友達に盆休み鹿児島の実家に車で帰るの旅をしないかと誘われ付き合いました。日本橋から国道1号線で大阪、2号線で岡山・広島に立ち寄り門司へ。3号線で熊本・鹿児島と途中見学しながら約50時間かけて実家に着きました。一泊して翌日は帰路につき、国道4号線から国道10号、12号線と往復路を走ったのですが、なぜか11号線だけ見つからず走れませんでした。ある日、沖縄県の地図を見ましたら国道11号線があることに気付きました。都道府県が国道で繋がっていることを知り、地方の人の心を知りました。いつか車で日本橋から鹿児島を通して国道11号に乗り、沖縄まで走りたいと心を悩ましています。

★旧満州から松戸へ人生変転

5班 秋元 輝美

父が旧満鉄勤務の関係で、私は満州で生まれ母と1才で死別

しました。終戦後は収容所で、日本に帰れる日を待ち、2才過ぎまで暮らしたそうです。兄は口癖で「俺はお前をリュックに入れ袋の口から顔を出させ背負って来た」と言いますが、引き揚げ時2才の私は記憶なし。兄は12才でした。家族は、母を除き全員無事帰国でき幸いでしたが、成人して父から収容所での話を聞き、書き記せないほどでした。皆苦労し涙を流し母国を想いながらも帰国出来なかった人もいたと知り、心が痛みました。戦後苦労した父も逝き、戦後七十年過ぎた今頃「あの時内地だったらな」とぼつり父の独り言を思い出し、戦争がなければ母は元気に暮らせていたかどうかと、遺骨のない墓の前で思うのです。私は島根県に引き揚げ、山口県防府市近くの小さな町で育ち、18で就職のため東京へ。その後千葉の人と結婚し、今は松戸で暮らしております。

★古代都市の栄光を目の当り

3班 武山 孝義

1979年1月1日午前8時30分、イラン・イスファハンのペルセポリス遺跡に立つ！テヘランのレストランで働く仲間4人が元旦の休みを取って、イランの建国2500年の歴史に

輝く世界遺産を目の当りにした。ペルシャ帝国は東はインドの西部から北は旧ソ連のカザック共和国の南部からコーカサス地方、西はトルコ、南はアラビア、エジプトまで領有しただけでなく、文化的にも非常に進んでいたことが楔形文字で粘土板に記録され、今日まで残されている。たとえばキュロス大王の国民の人権を認める宣言の粘土板が大英博物館に保存されている。これは主権の他に人権を認めた近代国家のあけぼのともなった重要な意義をもつ。ペルシャは武力だけでなく文化的にも高度に発達していたことを意味する。首都テヘランから420キロ南のイスファハンはイラン第2の都市で、又最大の観光地であり、日本なら京都に当る古都である。37年も前の若い頃の想い出だが、古代都市のたたずまいが今も脳裏から離れない。



ペルセポリス遺跡の若き武山氏

★思い出の俳句

8班 若井 正幸

花の下白衣の戦士楽器弾く

屑買いが去れば又来る年の暮
蜆売り葛西の漁師で明ける朝

鳩山一郎元首相と悲劇の人浅
沼元社会党委員長が衆院選で得
票を競った昭和30年代、東京千
代田区で暮した時の句である。
鳴き止んで酒を欲しが^{こたけ}る蜆よ

長男が誕生した昭和45年5月
緑豊かな松戸市民となった頃の句。
日本中の人が皆懸命に働いた時代、
家族が寝静まってから帰宅して
一人夕食を取る日も増え、ビー
ル一杯飲む横にこおろぎが同席
した。

思案して子^こ蜥蜴^{とかげ}遊ぶ庭の秋
爽かに慈しまれてボランテア

平成28年春入会を勧められて
ボランテアで道路河川の清掃
に参加、無心で打ち込める自分
に驚いた。駐輪場で利用者に喜
んで頂いて幸せを覚えた時、あ
あこれがセンターの方針なんだ、
一緒に働く人達の想いに近づけ
たのだと、感謝の心でいっぱい
です。

★山羊との思い出

2班 鈴木啓吾

私は7人兄弟の末子です。小
学校2年位の春、長兄が雌の子
山羊を友達の家から買って来て
世話をし^しると云うので、中学2
年頃まで世話をしました。山羊
は真白でおとなしく、ほんとう

に可愛かった。翌年の春に子山
羊が生れて世話と乳搾りと子供
心にも大変でした。今動物で何
が一番好きかと聞かれると、私
はいの一番に山羊と答える程です。
子供の頃の山羊とのことを思い
出すと、飛んで帰って又一緒に
生活を共にしたいと思います。

★学校が近くてよかった

12班 増子明

父が不治の病で長期の入院が
必要になった時から私達の生活
は一層きびしいものになった。
それでも気丈な母は馴れない農
作業で手間賃を得て生活を支え
てくれた。そんな中で忘れられ
ない6年生の修学旅行がある。
行先は日光でしたが前年までの
一泊が日帰りになって学校集合
は夜の12時30分。私は促されて
布団に寝入ったが母は準備に気
をつかっていたようである。こ
れで一安心と思った時、日頃の
疲れが重なってうとうとしたら
しい。程なくして学校の方から
増子くーんと呼ぶ級友の声。そ
れに気づいた私は母の用意して
くれたものをリュックに入れ学
校に駆けつけた。夜半にも拘わ
らず友達^の嬉しそうな様子が感
じられた。修学旅行も無事終わ
り、日光見学はすべてに私達を別世
界に誘うものとなった。

★初スキーの思い出

8班 棚井友幸

私のスキー初体験は、社会人
になった年の年末年始休暇を利
用し、秋田県田沢湖高原スキー
場へゼミ仲間3人で行った4泊
5日のスキー合宿だった。初心
者は私だけで、ゼミ仲間のスキ
ー経験者から教わりながら滑り
始めた。前半の2日間はスキー
板を思うようにコントロールで
きず、思わぬ方向に行ったり転
倒したりして雪だるまになった。
3日目くらいから、やっとボー
ゲンらしき滑りができるようにな
り、最終日には不完全ながら
ボーゲンで緩斜面を滑れるよう
になった。グレンデスキーの後は、
雪との格闘で冷えた身体を温泉
で温め、秋田県の郷土料理きり
たんぽ鍋などの夕食を満喫。食
後は炬燵で地酒を酌み交わしな
がらその日の出来事を話題に夜
遅くまで語り合った。友情を深
めたアフタースキーは青春の懐
かしい思い出である。

▼活動あれこれ▲

★作業は「危険」にまず注意

2班 森谷芳子

安全適正就業管理委員会を皆
様ご存じですか？私が安全委員
になる7年前の事故の状況は、

家事援助の帰宅の途中に自転車
で足を骨折、捻挫などの傷害事
故が多かったです。現在は事故
件数は減少傾向ですが「賠償」
の事故が増えてきました。なぜ
でしょうか。シルバー人材セン
ター発行の「安全のしおり」に
は作業全般に共通した安全就業
の心得が記載してあります。皆
さんも初心に戻ってもう一度目
を通され、安全を最優先に1つ
でも事故を無くしましょう。私
も当センター会員になって13年
ですが、自慢ではありませんが
事故は一度もありません。作業
の際は必ず「危険な場所・もの」
を確認しています。さて仕事が
ない時は、趣味の踊りの他に、
読み聞かせや保育所ディサビー
スなどボランテア活動も頑張
っています。今もこれからも

★料理教室に参加

2班 大塚律子

10月17日、料理教室の会場は
思った以上の沢山の人で少し緊
張の中で始まりました。栄養の
お話やスライドを使った先生の
お話はとても勉強になりました。
調理指導もきめ細かくわかりや
すく、和気あいあいと進みました。
豆乳シラタキを使ったメニュー
は実に美味しく満腹感もあり、
出来上りを並べて皆テーブルに

着き、「いただきます」は本
当に楽しい時間でした。またこ
んな素敵な企画があれば、是非
参加したいです。有難うござい
ました。

★絵本読み語りの醍醐味

7班 島田 忠巳

松戸市が力を入れている一つ
に子育て支援の環境整備があり
ます。シニア交流センター3階
にも「親子DE広場旭町」という
地域のお母さんと子ども達が一
緒に遊べ、お友達を作ったり、
お話しできる部屋があります。

ここで当センターの女性部と絵
本読み同好会のメンバーが毎月
1回ボランティアで絵本を読ん
だり、母と子の交流の時間を持
っています。この前の絵本読み
会の時、いつものように絵本を
読み始めたのに、子どもたちは
落ち着いて聞いてくれません。
当然ですが広いお部屋で開放的
な気分の中でじっとしているわ
けはありません。絵本を読ん
でいる前を飛び回っています。ち
ょうど絵本は動物たちがいろい
ろ登場する場面でした。一人の
男の子が突然、「コアラだね」
の一声。びっくりしました。絵
本の画面など見ていないと思っ
たのに、しっかりと見ていてく
れたのです。それからお母さん

の膝に座って最後まで見てくれ
ました。絵本の力を信じて読み
続けることの大切さを学びまし
た。子どもは大人の感性では理解で
きないことが多々起こります。
今度、絵本読んでみませんか。

★グラウンド・ゴルフ大会に参加

3班 山本博之

11月2日、金ケ作公園で開催
された28年度第2回グラウンド・
ゴルフ大会に同好会のご厚意で、
地域班活動委員会から5名、参
加しました。当日はあいにく曇
天の肌寒さでしたが、計26名の
参加者は日頃の練習の成果を発
揮しました。16ホール2回（パ
ー96）の競技で、通算77打（19
アンダー）ホールインワン2回
を達成した折小野光徳さんが優勝。
この大会には順位賞の他ホール
インワン賞、ニアピン賞、BB賞、
飛び賞もあり楽しみ満載です。

約2時間強、互いのプレーに
拍手、応援しながら楽しく友好
的に過ごしました。



グラウンドゴルフ大会



松戸まつりに参加

部会活動

○さわやか秋のクリーンデー

～ボランティア活動委員会

地域社会貢献の一環として10
月19日、シニア交流センター周
辺の清掃を実施。近隣の方々よ
り「お疲れさま」の声に大感激。
参加人員21名でゴミ袋40袋の成
果でした。活動終了後龍谷理事長、
古宮事務局長に参列して頂き、
和やかに懇親会を行いました。

大前アキ子（9班）

○松戸まつりに初参加

～女性部会

女性部会として今回初めて、
松戸まつりに参加させて頂きま
した。正直、不安と期待が入り
まじっていました。来て頂い
たお客様との会話に不安も消え、
いつの間にか溶け込んで行く事
が出来ました。一日が終わり、
振り返ってみれば、商品を出し
て下さった方への感謝と、購入
して下さった方との交流が楽し
かったこと、シルバー人材セン
ターの会員だから、このような
体験が出来るのだと実感した一
日でした。

松田 恭子（2班）

○初冬の茨城バスツアー

～総務部会

心配された空模様もまずまず

の11月8日、笠間の菊まつりと
茨城冬の名物「あんこう鍋」の
豪華昼食バスツアーは当センタ
ー一行（男性21名、女性9名参加）
を乗せ、八柱駅を定刻に出発。
車内は小林旅行委員長の手際よ
い司会進行、龍谷理事長の簡潔
な挨拶、参加者の自己紹介、恒
例のカラオケなど和やかな雰囲
気のうちに、最初の目的地「か
ねふくめんたいパーク大洗」で
小休止とシヨッピング。次に「大
洗イエローポート」であんこう
鍋の昼食に舌鼓。午後は日本三
大稲荷の一、笠間神社に参詣。
大河ドラマ『真田丸』をモチー
フにした菊人形展を紅葉の中で
見物し、帰途も快適に走行した。
参加者全員の親睦への協力、世
話役の献身に、実行委の一人と
して大感謝だった。

河田 實（10班）



日帰り旅行



一泊旅行

なお一泊旅行は11月24・25日、
信州・上諏訪温泉（華乃井ホテル）
で盛大に行った。参加者36名。

地域班活動

ビール工場見学と土塔森林公園
散策

8・9班合同

10月20日、アサヒビール茨城工場見学と守谷市土塔森林公園散策を、男性19名、女性9名の参加で実施した。本工場は広々と自然豊かな中でビールの他清涼飲料も製造している同社最大の工場である。製造工程見学ではスピードと大量生産にオートメ化の威力を痛感。地上60mの試験会場では美味しいビールの注ぎ方を教わり、出来たての生ビールを堪能した。また試験タイム中に体感地震のハプニングがあり、この程度で酔ったかな？と戸惑う姿もチラホラ。守谷駅近くの明治神社に参拝。土塔森林公園で昼食。和やかに歓談して親睦を深めた。

棚井友幸（8班）

梨狩りをたのしむ

3班

当班の地域班イベントは9月27日、2班、7班、11班の有志も参加し、高塚新田の『高代園』で実施した。秋雨前線が遠ざかり久々の晴れ。梨は大ぶりの新高。参加者全員で園主に梨もぎを教わり恐る恐る実践。園の庭先での昼食・懇親会には新高、二十世紀、豊水が試食に供され、み

ずみずしく友好のひと時を過ごした。小室理事から差入れの日本酒も皆で美味しく頂戴した。

山本博之（3班）

認知症サポーター養成講座と講演開催

5班

2回目の市役所出前講座を9月4日、稔台市民センターで開き、他班も含め45名が参加した。講師は明（あきら）第一高齢者いきいき安心センターの堀越主任。映画プロジェクトで説明文が明瞭に出て大変分かりやすかった。10年後には高齢者5人に1人が認知症になる可能性があり、認知症の正しい知識と理解を身につける必要性を説明された。終了後オレジンリングが全員に配られ、改めて認知症に対する認識の大切さを感じた（本紙52号に今田氏の認知症解説あり）。

次に松戸市社会福祉協議会副会長小川早苗氏（当センターの元理事長）から、地域あるいは高齢者と社協との関わりについての講演があり、終りに地域班活動委員長の小室・小林両理事からセンターの現況や入退会等の説明と参加者全員に参考資料が配られ、改めて今回の養成講座の意味を噛み締めたことであった。

谷地田由夫（5班）

駐輪場便り

松戸東口高架下駐輪場です

石田政巳（3班）

ここでは管理員15名体制で就業しています。勤務はABCのシフトで2名単位で行っています。この駐輪場は縦100m、横60mの縦長で、自転車450台、バイク200台収容可能です。管理員の平均年齢は72才（上81、下62）のシニア年令真盛り。カラオケ好きもいれば麻雀、パチンコ、ゴルフ、囲碁、将棋、日曜大工、あるいは俳句、川柳の趣味まで多芸多才。管理員同士の意思疎通や情報を共有する意味で年一、二回飲み会も行っています。これからも健康で明るく働き続けられる様にと願っています。

通称ギャンブル線の駐輪場で

染谷健一（10班）

新京成線八柱駅と武蔵野線新八柱駅に隣接する当駐輪場は、早朝より多数のお客様で活気のある棟である。同地域にはパチンコ等の遊技場や飲食店・コンビニも多く、一日中人通りが絶えない。又、高校や中学校もあるので土日でも生徒達の部活や一般客の買い物・遊びと利用者が多い。さらに武蔵野線沿線は

“通称ギャンブル線”で競馬場も多く、開催日の夕方には当たり場券を誇らし気に掲げる方や反省・後悔の念を述べる方々と悲喜交々。我々管理員は今回の幸運をおいのりしている。

駐輪場・地域班活動に思う

江袋理（5班）

稔台駐輪場に勤務して4年、その感想と残された1年についてお話しさせていただきます。シルバー人材センターへの入会動機は経済的、健康維持、社会参加の生き甲斐を感じたかったのですが、高齢会員の皆さんが働きを通して生き甲斐と健康長寿に繋げ、地域社会の活性化にも貢献していることを良く理解できました。多職種の会員が入会する中、残りの1年間もシルバー会員に期待される生活支援、社会活動に、現役として元気に頑張りたいと思っております。松戸市シルバー人材センターに有難うと申し上げます。

新松戸駅西口高架下第2

野口啓次郎（2班）

当駐輪場は新松戸駅の西南にあり、貨物線の高架下に定期使用1200台、一時使用1200台の駐車可能で、管理棟の室内も広く気持ちよい職場です。駐輪場脇の桜の枝が伐採され、お

お客様から「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿！」とお叱りを受け早や5年。その桜もようやく満開の花を咲かすようになりました。目指す「お客様に愛される駐輪場」も今では沢山のお客様が感謝・お褒めの言葉を下さいます。「お世話になります」「自転車が綺麗に並んでいますね」お客様の声こそ働く喜びです。



謹賀新年 同好会ご案内

■手工芸同好会

連絡先／高橋 久子 (5班)

(電話 367・2317)

■グラウンド・ゴルフ同好会

連絡先／中川 忠興 (12班)

(電話 386・7433)

■フラダンス同好会

連絡先／小竹 和子 (5班)

(電話 360・2778)

■囲碁クラブ

連絡先／高橋 公 (5班)

(電話 364・2390)

■絵本読み語り同好会

連絡先／島田 忠巳 (7班)

(電話 341・3544)

■カラオケ同好会

連絡先／小林 久芳 (5班)

(電話 367・6579)

■松明健康麻雀クラブ

連絡先／金井 八重子 (3班)

(電話 360・0778)

詩歌はたのし...

短歌

2班 保沢 紀

(馬橋西口駐輪場にて詠む)

脱皮したセミの脱け殻見付けた
か幼き児らの飲びの声

夕闇に寺の鐘聞く仕事場に涼風
吹きて汗顔嬉し

台風之余波で雨足強くなりサドル
拭く手に冷たく雨が

2班 根岸 敦子

雨上がり気に入り傘の滴取り開いて廻し一瞬愉しむ

久々に友と語らい時充たす陥没穴を埋めるがごとく

待望の色づく柿を見上げつつお裾分けする友の顔浮かぶ

2班 小倉 美枝子

冬ざれの水仙香る嵯峨山へ馬の背スリル花が見ている

*

冬桜淡く凜と愛しきかな

川柳

2班 佐々木 幸紀

シルバーの同好会に絆の輪
電話出て名前聞いたら切る息子

孫来ても家出はダメよ諭吉さん

俳句

7班 島田 忠巳

風花や稜線既に火炎起つ

喉元にイエスカノールか水仙花
寒月より飛び降りて来し音符達

父母に会いに行つたよ雪だるま
冬銀河鉄路発車のベルが鳴る

8班 若井 正幸

(日帰り親睦旅行に参加して)

散り急ぐ桜紅葉や天高し
ひたち路を義侠忠治を呼ぶ歌も

陶の里菊花で築けり真田丸

◆「臨時入会説明会」開催◆

当センターの臨時入会説明会を実施します。松戸市在住で健康で働く意欲のある60歳以上の方なら入会できます。ご近所、お友達に声かけしてください。

日時：平成29年3月16日(木)10時

場所：松戸市民会館301会議室

次号の投稿大募集！

今号より本紙を高齢者の目に優しい大きめの活字に衣替えしました。特集「私の思い出・特技・宝」など引き続き募集中です。他に「各種文芸」「報告」「面白写真」等。紙面の都合で添削・割愛をご容赦下さい。

〆切：平成29年3月末日迄。

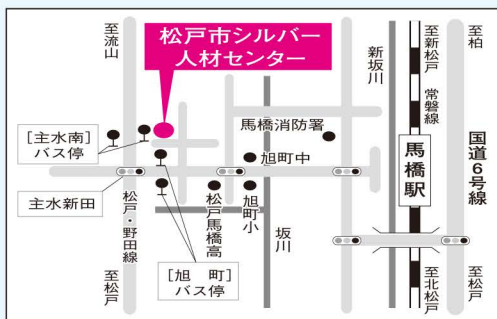
(「はつらつ松戸」編集部)

編集後記

私事ですが、父は多趣味の人でも釣りが好きで釣り会の仲間とよく車で川釣りに出掛けていた。釣果の小鮒を干してストックしておき、年末になると母が甘露煮にして近所の将棋仲間達に配って歩いた。四谷にいる父の姉宅へは私が届ける役をしていた。同い年の従姉妹と遊べるのと、下町の我が家と違い初めて食する物も多々あり、それも楽しみの一つだった。年末年始の過ごし方を今号のテーマとして話し合う中で、次々と懐かしい思い出が甦ってきた。

(根岸 編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271-0043 松戸市旭町一ー一七四
TEL0477-330150
FAX0477-330150
・月曜日から金曜日
午前8:30～午後5:00
・土・日・祝日及び年末年始はお休みです。

※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。
JR馬橋駅西口より徒歩25分 ●JR馬橋駅西口(京成バス)松戸駅行き 旭町下車3分